

入試案内

入試日程：秋と春（9月・3月）に実施されます。 ※ 詳しくは、入試要項をご覧ください。

試験科目：外国語（英語）＋専門科目＋面接

※ **社会人入試**では、小論文＋専門科目＋面接

＋ **英語**：辞書持ち込み可。

＋ **専門科目**：臨床心理学を必答のうえ、発達心理学・心理学研究法・障害児心理学から一つを選択。

＋ **過去問**は資料請求により、直近3回分が送付されます。

＋ **長期履修制度**：職業を有している等の事情により、2年間の標準修学年限を超えて計画的に長期履修（3年又は4年）を行うことができる制度が設けられています。申請が認められた場合、納入する授業料等の総額は2年間分となります。

＋ **博士後期課程**には、人間複合科学専攻が設けられています。

資料請求（入試要項）・お問い合わせは、こちらまで。

ノートルダム清心女子大学 入試広報部

086-255-5585 ・ apoffice@post.ndsu.ac.jp



交通アクセス

700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

JR岡山駅・西口から徒歩10分。

詳しくは、本学サイトをご覧ください。

<https://www.ndsu.ac.jp/about/access.html>

※ **資格取得について** 公認心理師受験資格取得のためには、学部で公認心理師に必要な科目の単位を取得していることが必要です。現在、本学では大学院のみの対応となっています。

臨床心理士については、学部での履修状況にかかわらず、本学臨床心理学コースを修了することにより、受験資格を取得可能です。

※ 本パンフレットの情報は、2022年度に予定されているものであり、変更になる場合があります。最新の情報については、本学サイト・人間発達学専攻のページをご覧ください。

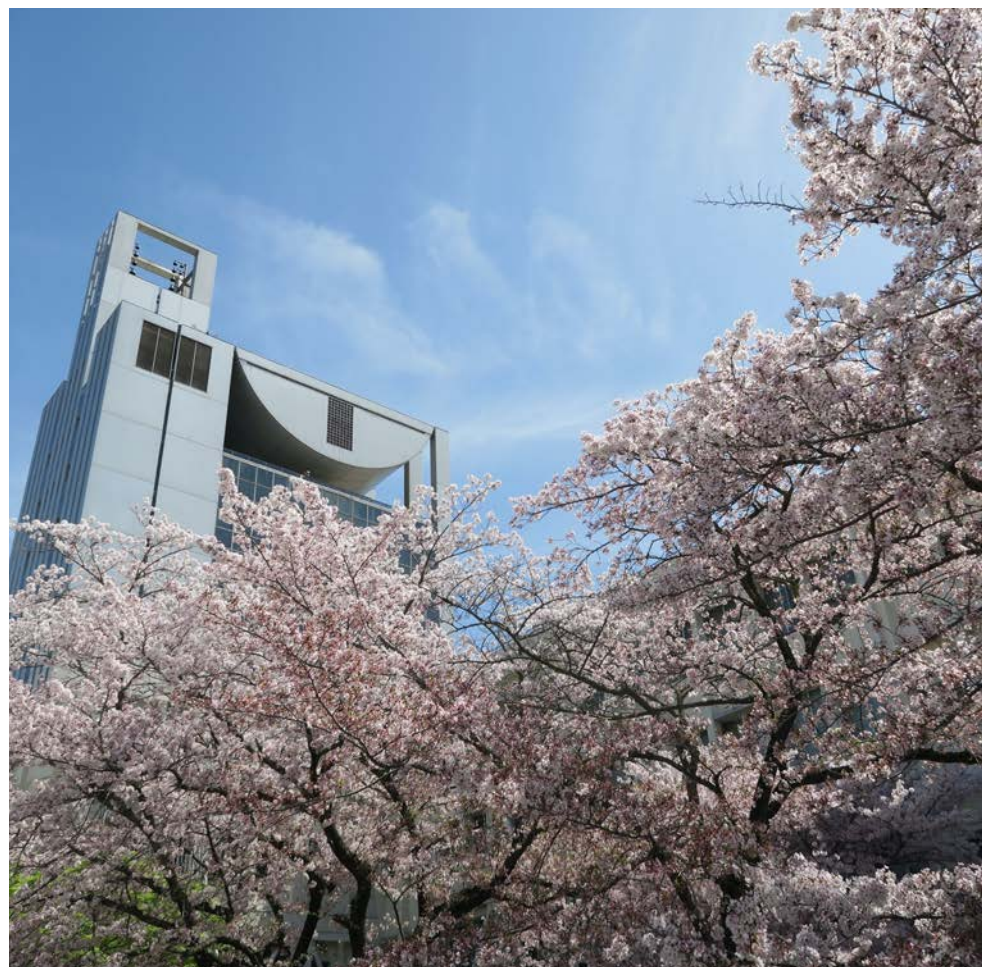
https://www.ndsu.ac.jp/department/grad_human/development.html



ノートルダム清心女子大学大学院

人間生活学研究科 人間発達学専攻（修士課程）

臨床心理学コース



＋ **臨床心理士** × **公認心理師** ＋ **心理臨床の多彩な学派**を学ぶ
両方の大学院カリキュラムに対応 ＋ **教育・福祉・医療との連携**

NOTRE DAME SEISHIN UNIVERSITY

ノートルダム清心女子大学 臨床心理学コースの特色

+ 臨床心理士 × 公認心理師 両方の大学院カリキュラムに対応

本コースは、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士」の第一種指定校です。また、公認心理師カリキュラムに対応しています。両方を充たすカリキュラムにより、心理学の幅広い専門性に加えて、心理臨床を深く理解する実践力を培っていきます。

(※公認心理師の受験資格には、学部で必要な科目の単位を取得していることが必要です。)

+ 心理臨床の多彩な学派を学ぶ

精神分析学、ユング心理学から、応用行動分析、特別支援にかかわる臨床など、多彩なアプローチが学べます。一人ひとりを大切にする大学のリベラル・アーツ精神に基づいて、クライアントを一人の人間として尊重し、幅広い観点から深く理解していきます。

+ 教育・福祉・医療との連携

教職・福祉・特別支援教育や、医療・産業領域での臨床など、担当教員は多様な実践・連携の経験をもっています。また、学内の相談室に加え、学外の施設と連携し、多様な実習経験を積むことができます。

心理臨床を学ぶ環境

+ 児童臨床研究所・ 清心こころの相談室

学内の相談室では、子どもから大人まで、一般の方々の心理臨床相談を実施しています。大学院生もこの相談室で実習経験を積むことができ、臨床心理士や公認心理師資格をもつ教員と相談室スタッフが、臨床指導に当たります。

+ 研究活動・研修機会

毎年発行している『児童臨床研究所年報』『清心こころの相談室年報』に、大学院生の研究も掲載されています。講師を招いて毎年開催している研修会には修了生も参加・発表でき、専門講座・公開講演の開催など、心理臨床に関する生涯学習の機会を設けています。



+ 実習について

臨床心理実習・心理実践実習では、保健医療領域・福祉領域・教育領域など、学外施設での実習や、学内施設（清心こころの相談室）で事例を担当し、アセスメント・遊戯療法・面接法や、専門職としての事例検討について学びます。このほか、臨床心理基礎実習でのロールプレイや見学実習、子育て支援「のびのびseishin」など、幅広い臨床経験を得ることができます。

ノートルダム清心女子大学 臨床心理学コース・教員紹介

◆は臨床心理士、◇は公認心理師、★は臨床発達心理士の有資格者です。臨床指導は下記の教員が、公認心理師資格をもつ相談員スタッフと連携して担当します。

中内 みさ 教授 Nakauchi Misa ◇◇

専門領域：学校教育臨床・障害児教育

養護学校教諭の経験から、病弱児の心理的支援を研究。ユング心理学をベースに心理療法を実践しています。著書『病弱児の心理的支援に関する研究—病気の受容の観点から』ほか。

西 隆太郎 教授 Nishi Ryutaro ◇◇

専門領域：精神分析学・ユング心理学・保育学

心理臨床や保育の場において、人と人が出会い、ともに成長する相互的な関係と、そこから生まれる無意識のコミュニケーションについて、探究しています。著書『子どもと出会う保育学—思想と実践の融合をめざして』ほか。

日下 紀子 准教授 Kusaka Noriko ◇◇

専門領域：精神分析学・心理アセスメント

精神分析的な心理療法、心理検査（投射法）を用いた心理アセスメントを臨床実践にどのように活用していくのか、心理臨床にあらわれる「不在」の体験について追究しています。著書『不在の臨床—心理療法における孤独とかなしみ』ほか。

青山 新吾 准教授 Aoyama Shingo ◇★

専門領域：インクルーシブ教育・特別支援教育

岡山県内小学校にて通級指導教室担当として発達・言語・コミュニケーション臨床を行ってきました。暮らしやすさを大切にした自閉症スペクトラム臨床について追究しています。著書『自閉症の子どもへのコミュニケーション指導』共著『インクルーシブ教育ってどんな教育？』ほか。

東 俊一 准教授 Higashi Shun-ichi ◇◇

専門領域：応用行動分析的アプローチによる障害児・者支援、特別支援教育

障害児・者や保護者への心理的支援及び特別支援教育実践に対して、療育的視点からの実践・研究に加え、システムの視点での研究も行っています。共著『その心理臨床、大丈夫？—心理臨床実践のポイント』『社会的養護の理念と実践』ほか。

+ カリキュラムについて

臨床心理士・公認心理師に必要な科目を、臨床心理論、研究法分野、基礎分野、社会分野、精神・身体分野、心理支援分野、専門関連科目の7研究分野として設けています。ここに挙げた教員と、学内・学外の心理学研究者による科目を通して、臨床心理学とその関連領域を深く学び、修士論文を執筆していきます。こうした学びを通して、心理臨床に求められる研究的態度・臨床観を培います。

+ 進路・就職

臨床心理学コースの修了生は、医療機関の心理士、スクールカウンセラー・適応指導教室・大学の学生相談室等の学校・教育領域をはじめ、さまざまな心理臨床の現場で活躍しています。